

2024_1225「月齢 23 の昼の月（動画）」日々の理科 3793 号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

月の満ち欠け一周を「一朔望月」といい、新月（月齢 0.00 の一瞬）から次の新月までで、約 29.5 日です。その間に半月は 2 回で、月相（月齢とは別の概念）が 7.0 の「上弦」と、月相が 21.0 の「下弦」があります。半月は上弦でも下弦でも昼に見えるので、理科の授業では役立ちます。

「上弦」の場合は、昼に昇り、夕方南中、真夜中に沈みます。主に午後の授業で観察できます。「下弦」の場合は、真夜中に昇り、朝南中、昼頃に沈みます。こちらは午前中の授業で観察できます。先日北区の小学校の理科室から見えた月は、下弦の翌日の少し欠けた月でした。

昼の月は白っぽくて、月面の地形も見えにくいものです。それでも、月面の明暗境界線の少し左に見える「コペルニクス」というクレーターは目立ちます。双眼鏡でも立体的に見えるので、授業でも観察してほしいクレーターです。

(2024 年 12 月下旬／東京都北区)

